

歴史探訪ウォーキング

2月26日、「求名歴史探訪ウォーキング」が求名区で開催されました。

これは、求名区の歴史を学び、先人の遺業に触れるとともに区内の散策を通して、郷土のよさを再認識することを目的に行われたもので、約100人が参加しました。

参加者は、それぞれの自分のペースで豊臣秀吉が通った道を歩き、心地よい汗を流していました。

また、橋掛公民会の女性部と地域作りグループ「野の風」による豚汁とおむすびが振舞われ、参加者に変喜ばれていました。



秀吉の通った道で説明を受ける参加者



薩摩地区研究集会の様子

薩摩地区研究集会

2月17日、第32回地方会・薩摩地区研究集会がJAさつままで開催され、健康フォーラムや講演が行われました。

健康フォーラムでは、鹿屋体育大学や鹿児島純心女子大学の学生による中津川区の生活実態調査結果に基づく研究発表、医療費や健診結果に基づく研究発表が行われました。

その後、本町出身で水俣病研究などに取り組んできた熊本学園大学の原田正純教授の「水俣からのいのちのメッセージ」と題した講演があり、「地域の研究者と市民が一緒になって研究し、その結果を地域に返すことが大切」と話されました。

特用林産物産地づくりの部

優秀賞受賞

2月17日、県民交流センターで開催された鹿児島県森林・林業振興大会で大野昭子さん（久富木）が、特用林産物産地づくり（たけのこ生産）の部で優秀賞を受賞されました。

たけのこ生産は、親竹の管理・施肥状況・生産実績などが総合的に審査されるもので、大野さんの高品質のたけのこ生産や生産量増大に対する努力が認められ、今回の表彰となりました。おめでとうございます。



優秀賞を受賞した大野さん



200号達成を記念して発行された縮小版

「しがつみやんじよ」

記念縮小版発行

薩摩郷句「渋柿会宮之城支部」の会報「しがつみやんじよ」が、昭和63年6月に「宮之城薩摩郷句だより」として発行以来、平成17年1月までの18年4か月間で200号を達成したことを記念して、この度「200号達成記念縮小版」を発行されました。

この間、会報名の変更や様々な苦労などもありましたが、会員の長きに渡る献身的な努力で達成されました。

今後とも同支部では、会の発展のために300号を目指して会報を発行されます。